



おにはうちふくはそと



おんがくかいだより

先週17日(金)、子どもたちが全員そろって、音楽会をおこなうことができました。どの学年も劇ごっこや劇あそびをたのしみ、おうちの方やお客さまに見ていただけることを喜んでいました。子どもたちのかわいらしい姿やかっこいい姿を微笑みながらご覧くださり、あたたかな拍手を送ってくださった皆さま、どうもありがとうございました。お客さまから「それぞれの学年らしさが出ていて、ステキだったね!」などのご感想をいただき、子どもたちが聞いたら喜ぶだろうな...と思いました。

さて、今回も各学年の準備や当日の様子についてのエピソードをお伝えいたします!!

(はじめりは.....)

1月中旬のある日のこと。もうすぐ2月の節分に向けて、鬼の本を読みました。スタンダードな「泣いた赤鬼」そして、今回演じることになった、「おにはうち、ふくはそと」。(原作は「ふんじし」でした!)パンを脱いで、食糧と交換するところが子ども達に大ウケ。それから約1ヶ月、「おにはうち」を題材に、活動が広がっていました。

芸達者な12人....

お話を聞いて、イメージが湧いていたのか、面白役を決めるとき、おめることもなく、みんな希望通りの役になりました。みんなそれぞれ、よく似合っている役を選んでいましたね。そして、台詞と立ち位置は、教師が決めたが、それ以外の動きは、自分で考えたものなのさ!! (なので、2回と同じ劇は、ありませんでした) おうちの方がご覧になった「おにはうちへ」は、後にも先にも、われ1回だけ。貴重な1回でした。演じる、というよりは、なり切って楽しむのが、みんなで作りに上げた劇あそびでした。(子ども達のいろいろな面が見え隠れした1週間でした。)

♪音楽会までの1ヶ月♪

まずは「お正月あそび」。たこあげをしました。レジ袋で作った、かたかたなたこでした。園庭のぬかるみがひびく、なかなか、思い切り走れません。そうしているうちに、大雪の日を迎えました。「もう今日しかないね!」と、子ども達と大はしゃぎでたこあげをしました。その勢いのまま、次は「鬼のお面作り」。一本角だったり、二本角だったり。思い思いの象の鼻を選んでいます。(メチアテグズの絵画展にも出品しました) 制作活動も楽しく進んでいる中で、もう一度

「おにはうち、ふくはそと」の絵本を言ってみました。そして、園庭での「豆まき」。もう、子ども達は、どろどろ「鬼潰け」になってしまいました。楽しく劇も作っていく中で、マラカシュも作ってみました。子ども達から「これぞ、節分ちやう」という声も出てきたので、ラストシーンに入れてみました。作りの小物も、テラホラ登場は、劇あそびでした。

おうちの方のご感想をお聞かせください。お待ちしております!

- ・パンで おまきください。
- ・お手紙ですが、切り取って お出してください。

しめりきり: 2月24日(金)

まもも グルーポの劇「こころ あおむし」

新聞紙 ボールあそび

雪の日、部屋で体いはい、動かして走るまももグルーポたち。部屋で「ケガをしないか?」と心配した担当教師たちは... 雪に見たてて「新聞紙で雪合戦しよう!!」と誘いました。子どもたちは、真剣な顔で新聞紙を丸め、ニヤニヤしながら教師めがけて投げたり、キター!! と叫んで逃げたり、盛り上がりました。

ゆきだるまではなく、あおむしになっちゃった!!

雪をいはい、集めると「ゆきだるま」になるおとと、白の大袋がないか探したと... 白のたてで、「みそ」の大袋にみそなど、追いつけ入れのように入っていく。別の日もしたい!! と言われ、また作り、何日間か作り間に、「あおむし」になっていました。

なに たべる??

出来たあおむしに、いろいろなものを食わせて楽しめました!!

「りんご」「キャベツ」「みかん」「ほうとう」「チーズ」... 「ごぼう」... 食べるとおもしろい!!

当日、カーテンの中月の、楽しそうに演じていたまももグルーポ。かわいらしくてすね!! けれど、カーテンに入るとは予想外でした。

劇ごっこ

子どもたちが作ったあおむしから、この劇を作ることに決めました。日を追うごとに、声が大きくなりました。草のお花畑は、まももグルーポが色ぬりしましたよ。

◇ きグループの ◇

金のがちょう

行列だ〜いすき!!

以前から、じゃんけん列車を以て行列になることを楽しんでた黄グループの子どもたち。お話を紹介すると、「じゃじゃんけん列車だわ!」と話す子どももいて、興味しんしんな様子で見えていました。子どもたちは、お話を覚えるのもはやく、登場人物や、お話を覚えるのもはやく、というまに覚えてしましました。

じゃんけん列車で遊ぶ時も、「手がぐっついてはなれない〜!!」とお話の登場人物になりきって遊ぶ姿も見られました。

役を決めよう!

お話もだんだん覚えてきて、取にも親しんできた頃、みんなで役を決めました。役を分けたら、全部の役が決まりな...うーん、どうしよう。そんな時、「私、ちがう役でもいいよ!」「ぼく、この役にかわるよ!」と、子どもたちが言い出してくれました。全員が自分で選んだ役が決まり、やる気も十分に、合詞を声に出して言ってみたり、歌を口ずさんだりしながら、準備を進めていきました。



みんなと一緒に!!

当日は、黄グループの子どもたち全員が揃って劇ができたことを本当にうれしく思っています。初めの頃は恥ずかしがってなかなかながら声が出なかったり、動きが小さくなったりする子どももいましたが、当日は、クリスマス時の合言葉「やさしく大喜び!!」を思い出し、楽しく表現することができました。「楽しかった!」と嬉しかった後は、笑顔いっぱいの子供たちを見ることで嬉しかったです。



◇ あおグループの ◇

スイミー

ちいさな かしい さがなの はなし

♪～ はなれはなれにならないことを

みんながもちほさまてることを

(劇中のうたより)



わたべすこ



あがきり

ものづくり

演出のための(絵)と(足)は子どもたちとつくりました。手さえのぐだりだにして、ペタペタペタペタ...何でかえのぐを塗、たでしょうか? 役ごとにイメージを持ち、絵巻を固められるといいな、と思ってる活動でした。メイキングを描、ておけばよかった! ...と思うような楽しい雰囲気でした。(絵)の係だったくんも、みんなの気もちを感じたり、自分で持ち方を考えたり、見せるタイミングを計ろうという気もちになったでしょう。

つがひはオッケー!!

おもしろい... なりそう...

1月、お話を絵本で紹介しました。子どもたちはスイミーの勇気や知恵に引きつけられ、レオレオニのうつくしい絵に魅せられながら、たのしんでいました。「スイミー、てすごい!」という声がある中、私(青木)は、さて、劇本をびしてどのようにつくりあげていこう...?!と具体的に考え始めたのでした。

♪いろいろうーんとかんがえてから...

子どもたちと一緒にすすす準備を進めました。進めていく中で、そうだ! 子どもたちができることは子どもたちの手で、という気もちが大きくな、てきました。

タイミング

立ち入り遅くかけたり、出たり戻り、ピアノの音や幕の閉りに合わせたり... というような、台詞やうたのタイミングをよくつかんでいたな、と思います。子どもたち同士で教え合、たり助け合、たりする様子もとてもうれしかったです。フィナーレの幕裏では、子どもたちだけが並び、赤い糸の渡し係のKちゃん、Sちゃんを中心に、赤い糸が一人ひとりの手に行き渡、ていました。「声を使わないで、目と手を使う方法」で、一方、幕前では、みんなそれぞれが幕の中の気配を感じながら、次に備えていました。

うたは? 小道具は?

オープニング、エンディングのうたは既製のうたをアレンジそのまま用いました。「この時、こんなうたがいい!」といううたはつけておきました。そのつ、♪海のいきものうたの歌詞「それはまるで □□□□みたいに見える」の□□□□は子どもたちと考えました。ネクタイ、ベルト、電車、シートベルト... いろいろイメージが出て、そして、たすきはちまきになりました。スポーツテマでの経験がここに! うれしく思いました。また、海のいきもの小道具はそれの他に、な子どもたちにも「どのように使う?、くらげに見えるかな?」と聞いて、子どもたちが考えてみるころから始めました。それぞれのいきものらしさを考えていました。

子どもたち一人ひとりの心か一つになり、一人ひとりが自分の役割に力を注いだらできた劇おそび、子どもたちの成長を感じました!